

問 30 【災害時における障がい児者の避難支援体制（行政、関係機関・団体）に期待することについて】

（自由記述）

○ 施設および避難所の設置について

- ・医療ケアでも入所可能なケアホームを各区に設置してほしい。
- ・医療ケアの3歳児以下でも緊急時一時短期入所できる施設

- ・福祉施設の開放と、当事者だけでなく家族と一緒に避難できる事。
- ・避難所は一般とは別に確保してほしい、エリア別に事前に知りたい。避難先でのマニュアルがあると安心できる。
- ・障がい者が障害にならない避難場所が確保を望みます。
- ・避難した時に、障がい児者の部屋があるとケアする者は助かると思います。医療ケアの必要な児者、パニックを起こす特別な事情がある対策。東北の震災では、体育館で自閉の子がパニックを起こして、本人も周りの方も大変そうな姿がありました。
- ・災害時の支援訓練の日常実施、福祉避難所の設置（車椅子ベット付きトイレと部屋の配慮）、冬季の災害時の体制確保災害時の支援訓練の日常実施、福祉避難所の設置（車椅子ベット付きトイレと部屋の配慮）、冬季の災害時の体制確保
- ・避難場所は医療措置が安心して対応できる福祉施設がほしい。
- ・障がい者の居宅確認、避難先の外傷等及び医療ケア等のホスピタルの確保
- ・災害時には親子で居られること、寒くない場所が確保できること。
- ・医療行為を必要とする障がい児の病院への避難受け入れ
- ・避難場所で一般の方は、一緒に生活したくない気持ちが大きいので、障がい児者と家族だけが集まる場所がほしい（福祉避難所）
- ・災害時に近くの病院に避難できたら、医療ケアが少しでも安心できるので地域ごとに病院を決めて受け入れてほしい。
- ・障がい者対応の避難場所の確保
- ・避難場所も大勢の中で生活する事が困難なこともあるので、障がい者が生活するのに困らない避難所があるとよい。
- ・現在通っている学校では十分な説明が無いため不安です。管理者がもっと体制を整える動きをし、保護者に伝えてほしい。今のままでは学校で災害が起きたとき、デイサービスとのやり取り、決め事など全く報告もなしです。
- ・養護学校（特別支援）が福祉避難所として避難できるように。学習会等で勉強し防災意識を高める事が必要と思います。
- ・障がい者のみの避難スペースを確保してほしい。
- ・避難先には障がい者ばかりでなく健常者もいます、障がい者がベッドを必要とするとき、健常者に迷惑をかけてしまう。奇声をあげる子の、対応などを考えると共存は大変困難なことで在り、現実には成立しないと思う。
- ・避難所の生活は難しい。遠くてもいいので医ケア出来る施設、病院にすぐ運んでほしい。
- ・医ケアでも可能なケアホームできれば各区に必要です
- ・重度心身障がい児者に対するの安心、安全な避難場所
- ・実際に災害があった時の避難場所の指定を知らせてほしい。
- ・避難場所の整備と人員配備を含む対策
- ・息子はじっとしている事が苦手で、大きい声を出したり、戸や壁をバンバン叩いたりするので、一般の人と一緒にいることは、他の人に迷惑がかかるため、安心して過ごせる施設へ避難できるかどうかを一番心配しています。
- ・地域で暮らすには限度がある。新しい現状にあった入所施設ができる事を望んでいます。
- ・施設（養護学校、重心施設、グループホーム、ケアホーム、共同住宅）などから避難する場合の移動手段の確保。

○ 非難所等災害時の環境について

- ・避難先の環境、風邪などの予防対策が必要です。
- ・障がい者宅の把握と、家族との連携が出できるように
- ・各自治会障がい児者宅（高齢者宅）を把握していること。
- ・障がい者が安心して共同生活出来るか心配です。災害時避難など生活は無理、人間らしく生活できるよう避難時対応などもきちんと決めてほしい。
- ・障がい児者の家庭を個別で訪問して、家族の情報を記入した書類を行政等が保管し活用する事を検討してほしい。
- ・電源の確保と利用の優先させてほしい。

- ・自分からSOSを発信出来ないのも、そばに誰もいなかったと思うと不安です。迅速に避難できる体制を整えてほしい。
- ・他人の手助けが無いと避難も動く事もできないわが子を、安全が確認できる場所へ無事行けるよう、移動ルートに必要な機材等をマニュアル化してその時に備えてほしい。
- ・避難場所への移動と誘導はどのようにしてくれるのでしょうか？
- ・結果的には『障がい者は家族が面倒見なさい』と成らないように
- ・町内会で緊急時のサポートできる人、してほしい人などの調査があり、それだけでも有難く思っております。近所の交流を図りお互いが助け合う環境づくりが本当に大切だと思います。

○ 医療的配慮が必要な方について

- ・避難所は混乱の中でしょうが、安全な場所とケアが出来るよう地域で対応できるのが願いです
- ・医療行為に係わる物品、薬品等を整備して
- ・災害時に通常使用している胃ろう部品、経管栄養等提供されるか心配です。
- ・全介助が必要で手まめにこまめに援護が必要です。
- ・医療ケアがあっても利用できるようにしてほしい(保育園、学校、児童デイ、通学、通園バス等、)健康な子と同じ対応してほしい。
- ・ストレッチャーに乗り、人口呼吸器を使用し、吸引が必要な障がい者が避難することは現実的に難しいと思う。3. 11の時の話を聞いても、ご近所の手助けは期待できないと思う、何かあった時は「あきらめようね」と子どもと話している。入院していた時も7Fだったので『2人一緒になら、どうなってもいいね』と話していた。他人に何か期待してはいけない気がする。
- ・災害時こちらが必要な援助を把握し、普段から障がい者の状態を知ってほしい。呼吸器を24時間使用しているのも、電源が使用できる避難所を事前に教えてほしい。
- ・この避難所は、医ケアの必要な方は〇名可とか、電源を必要としている方の受け入れを提示してほしい。できれば、障がい児者、家族が安心できる避難所を設けてほしい。必要とする経管栄養、普段飲んでいる薬の確保。

○ 行政機関等の支援体制について

- ・障がい者のいる家庭に対し、災害時にどのように行動すれば良いか、マニュアルがあると普段から意識でき、いざという時迷わず行動できると思います。
- ・先日宮崎で災害時のために、行われている取り組みについて知る機会がありました。災害はいつ、どこで発生するのかかわからず、親が子供と一緒に居るとは限りません。そういう時のためにも、障がい児の情報をまとめたものを、子供のかばんに入れておく事を実行しようと思いました。緊急時障がいのある人、周りにいる人が困らないように個人情報に人から知らせる事の重要性を全体に広めて、理解してもらい、宮崎のような取り組みを実現させてほしいです。
- ・災害が起きた時、地域で弱者(高齢者、障がい者)を支援する組織があつてほしい。(例えば自立支援協議会が災害時に『災害時支援チームとなって情報を共有して、問28、29のニーズ』に対して組織的に支援できるようにするなど)
- ・町内会には障がい児が居る事は連絡済みですが、どこまでの助けがあるか、すぐに対応してもらえるのか不安です。事業所に居た時はすぐに連絡がほしいけど、つながらない、いけないとなる時どうしたらいいのか不安になる。
- ・将来は看護師、ヘルパー、事業所等の連携によって(介護ロボットの普及にも期待)行政のお力を借りて、本人が安心して暮らして行ける事が理想です。
- ・障がい児が居る事を忘れないでほしい。障がいのある大人の対応はそれなりにあると思いますが、障がい児はあまり知られていないように思います。
- ・特に我が家は母子家庭なので子どもも成長にすれば体重も重く、母1人では長い距離を抱っこは無理なので、きっと取り残されるだろうなあとといった不安はあります。

○ その他

- ・使用条件に制限のない移動支援事業制度を期待します。
- ・就学前でも利用できるサービスを増やしてほしい。
- ・何も期待しない。
- ・無駄な所に我々の税金を使用せず、本当に必要な所に税金を使用してほしい。公務員の数が多すぎる
- ・介助者が事故、病気で入院、自宅療養等になったとき、なるべく本人の生活の質を落とさない様な支援があるといいと思います。
- ・移動支援事業の使用制限がなく利用できること。
- ・施設入所の場合自宅帰宅時.風呂、トイレ、手すり設置など役所の支援がなく、費用も高く負担が大きい。